

厚生労働省大臣様

平和と民主主義をめざす全国交換会
担当：畑（０９０－３４９４－５９２３）

高齢者の尊厳ある暮らしと介護労働者の賃上げ・待遇改善のための介護保険制度の改正を
求める要請書

<趣旨>

２０１５年度の介護保険制度改正は様々な悲劇を起こした。報酬単価の引き下げは、過去最大の事業所の倒産をもたらし、特養入所要件も介護３以上に引き上げられたため、介護難民が発生している。

介護保険がスタートした２０００年は保険料が２９１１円、今は４９７２円と倍増の勢い。都市部では６０００円をすでに超えています。さて超高齢化社会が到来するといわれる１０年後はどうなるか？ さらに利用料負担が２割３割負担となれば、保険料だけが天引きで持っていかれ、サービスが使えない悲劇が起こる。

すべての高齢者が尊厳ある暮らしを送り、介護に従事するすべての労働者がやりがいを持って働き続けられる環境を整えるため、以下の点を要請します。

<以下、要請項目と理由。要請にあたっての質問>

１．今後、介護保険の報酬単価を引き下げないこと

理由：政府の施策、１５年度の報酬単価引き下げにより過去最大の倒産を生み出した。倒産は失業を生み、利用者の行き場を奪う悲劇を拡大した。これ以上の引き下げはさらなる失業と介護難民をもたらす。

質問「１５年度の報酬改定がもたらした悲劇、惨状について、厚労省はどう認識しているか、考えているか」

２．特養入所要件を元に戻すこと

理由：空きベッドが相当数存在している。人材不足で稼働率が低下しているからである。
必要な人が入所できるようにすること

質問「特養に入りたくても入れない介護難民が出ていることを認識しているか、どう考えるか」

３．介護保険の国費負担を倍増し、利用者負担の軽減と介護労働者の賃上げを求める。

理由：人材不足の原因は、低賃金（全労働者平均賃金の６割～８割）が根本。しかも少数での夜勤や長時間労働など、ストレスの限界に近い状態が蔓延している。今後人材不足は２５万人との報道もあるが、極めて優れた人間的営みであるはずの福祉が敬遠されるという悲劇が起こっている。特養などの器を５０万床整備するとしているが、人材確保については一切触れていない。

介護保険がスタートした２０００年は２９１１円、今は４９７２円と倍増の勢い。都市部では６０００円をすでに超えています。さらに利用料負担が２割３割負担となれば、保険料だけが天

引きで持っていかれ、サービスが使えない悲劇が起こる。

保険料50%、国25%、県と市が25%という固定した制度設計は、国民・利用者負担が増え続けるのは当たり前。介護保険制度の枠内での処遇改善は利用者負担に直結する、そして保険料アップになる。保険制度を維持するという前提に立てば、国の負担が5割で保険料負担を半分にするなどの抜本的改革が必要。そのうえで、報酬単価を引き上げ、賃上げの財源とすること。利用者負担を軽減する事

質問「人材不足の原因は何と考えているか」

「現在、介護にかかる総費用が10兆円と言われているが、10年後はどの規模になるのか」

「利用者負担が増え続けていることを良しとするのか、改善すべしと考えるのか」

「介護保険の財政構造を変えなければ保険制度自体が成り立たなくなるが、どう考えるか」